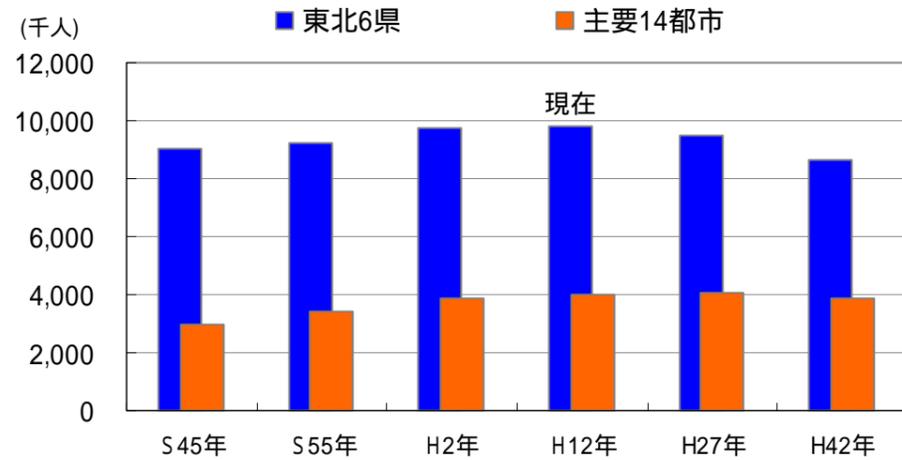


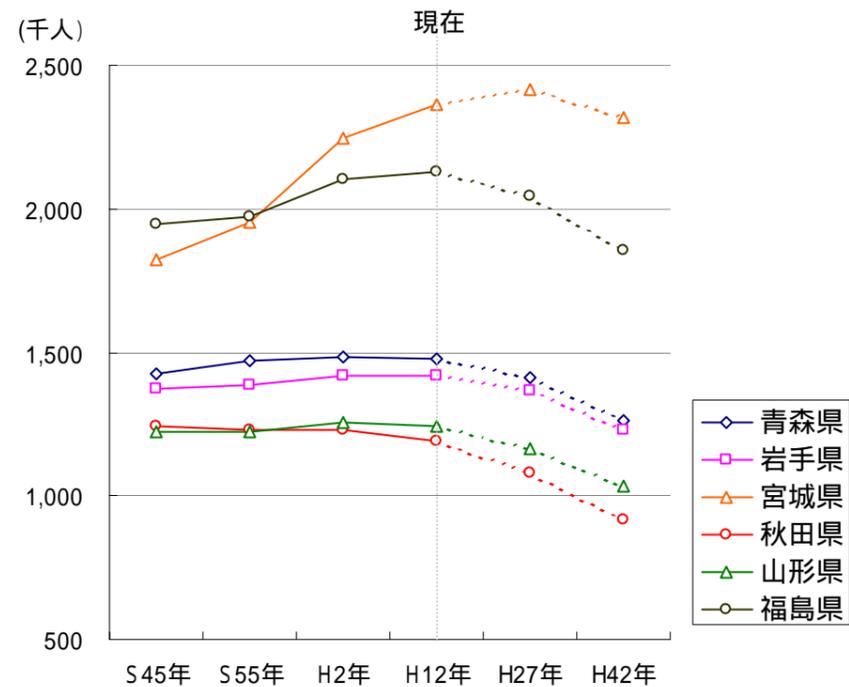
3. 東北6県と主要14都市の人口予測

東北6県の人口はS45～H12年の30年間に増加を続けてきたが、今後減少していくことが予想される。一方、主要14都市はH27年までは増加すると予想されている。よって、今後主要14都市が占める割合が高くなると予想される。

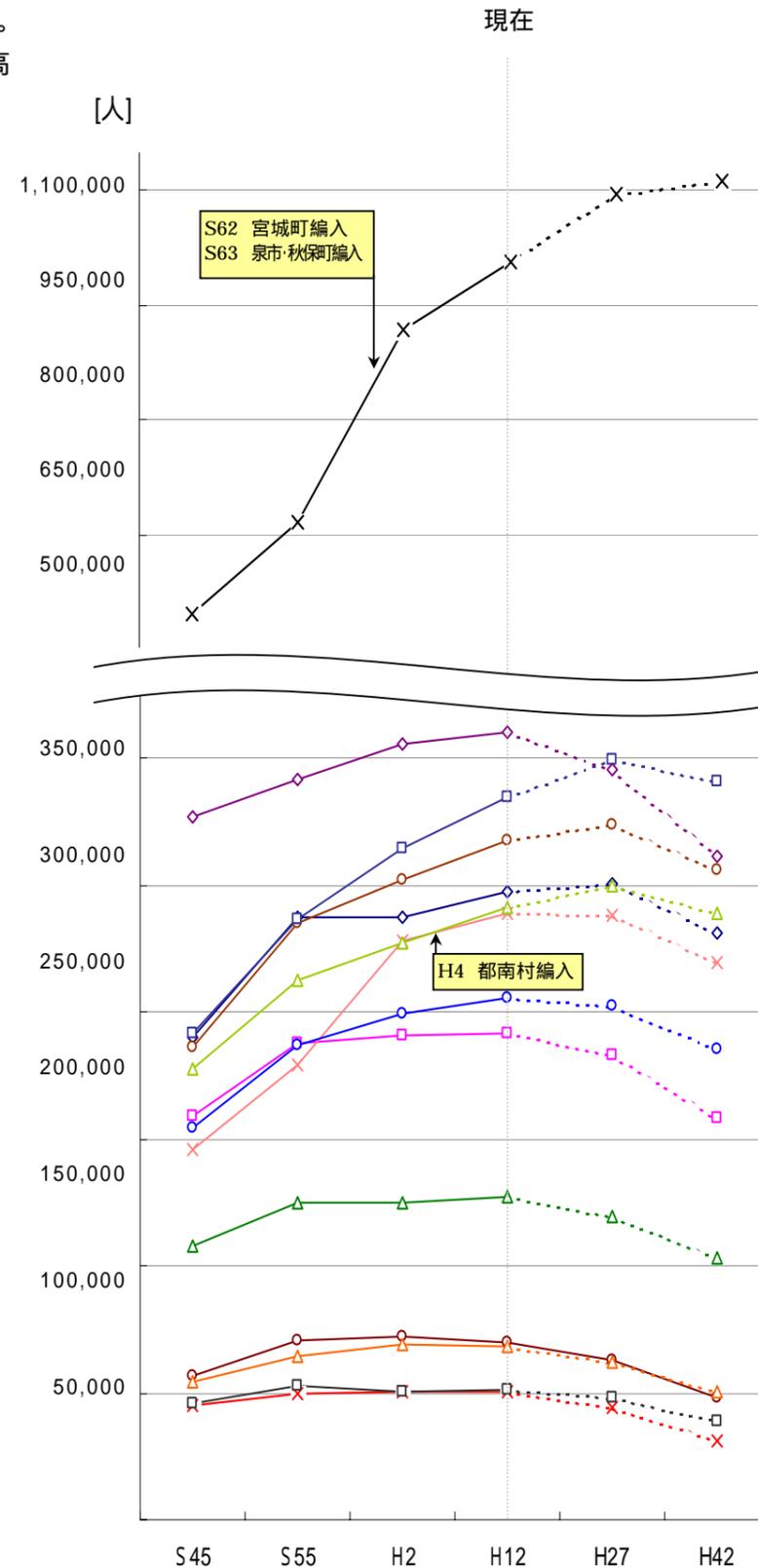


図：東北6県と主要14都市の人口推移と予測

宮城県のみ、このまま人口が増加すると予想される。これは右図の仙台市による増加が大きく関係してくると思われる。その他の県は、H12年以降減少していくと予想される。



図：東北6県の人口の推移と予測



主要14都市において、仙台市はH42年まで増加すると予想される。郡山市・秋田市・青森市・福島市の4都市はH27年までは増加すると予想される。その他の都市においては、今後減少していくことが予想される。(日本の総人口はH18年がピークでその後減少すると予測されている。)

図：主要都市の人口の推移と予測

資料出典：国勢調査
 (予測は人口問題研究所のH14年1月推計
 (基準人口H12年)による)